



**ena** サンフランシスコ  
2016年度 前期授業案内

1710 S. Amphlett Blvd.,#120  
San Mateo, CA 94402  
TEL 650-235-3410  
FAX 855-560-6750  
HP: [www.ena-kikoku.com](http://www.ena-kikoku.com)  
E-mail: [enasf@msn.com](mailto:enasf@msn.com)

# 2016 年度年間予定表

2月	9日(火)	<b>前期授業開始</b>	8月	18日(木)	<b>後期授業開始</b>
3月	5日(土) 12日(土) 19日(土)	中1・2・3 学力判定テスト 小4～6 第1回学力判定テスト 小5・小6 帰国生模試	9月	3日(土)	小4・5 第6回学力判定テスト 小6 第1回合格判定模試
4月	28日(月)～ 2日(土)	<b>春期講習会</b>	10月	10日(土)	小6 帰国生模試 中1 学力判定テスト
	9日(土) 16日(土) 23日(土)	小4～6 第2回学力判定テスト 中1・2・3 学力判定テスト 小6 帰国生模試	11月	17日(土)	小5 帰国生模試 中2 学力判定テスト 中3 第1回合格判定模試
5月	7日(土)	小5 帰国生模試 小6 第3回学力判定テスト 中1 学力判定テスト	12月	1日(土) 8日(土)	中1 学力判定テスト 小4・5 第7回学力判定テスト 中2 学力判定テスト
	14日(土)	小4・小5 第3回学力判定テスト 中2・3 学力判定テスト	1月	15日(土) 22日(土)	小6 第2回合格判定模試 小6 帰国生模試 中3 第2回合格判定模試
6月	4日(土)	小6 帰国生模試 中1 学力判定テスト	2月	5日(土)	小5 帰国生模試 小6 第3回合格判定模試
	11日(土)	小6 第4回学力判定テスト 中2・3 学力判定テスト	3月	12日(土)	小6 帰国生模試 中1・2 学力判定テスト
	18日(土)	小4・5 第4回学力判定テスト	4月	19日(土)	小4・5 第8回学力判定テスト 中3 第3回合格判定模試
	20日(月)～ 25日(土)	<b>夏期特別講習会</b>	5月	21日(月)～ 26日(土)	<b>サンクスギビング休校</b>
	25日(土)	小5 帰国生模試	6月	3日(土)	小6 第4回合格判定模試
7月	2日(土)	小6 帰国生模試 中1・2 学力判定テスト	7月	10日(土)	小6 帰国生模試 中2 学力判定テスト 中3 第4回合格判定模試
	9日(土)	小6 第5回学力判定テスト 中3 学力判定テスト	8月	17日(土)	小4・5 第9回学力判定テスト 中1 学力判定テスト
	16日(土)	小4・5 第5回学力判定テスト	9月	22日(木)～ 30日(金)	<b>冬期講習会</b>
	23日(土)	<b>前期授業終了</b>	10月	31日(土)～ 4日(水)	<b>冬期休校</b>
	25日(月)～ 6日(土)	<b>夏期講習会</b>	11月	7日(土)	小5 帰国生模試
8月	7日(日)～ 17日(水)	<b>夏期休校</b>	12月	14日(土)	小4・5 第10回学力判定テスト 中2 学力判定テスト
			1月	21日(土)	中1 学力判定テスト
			2月	25日(土)	<b>後期授業終了</b>

★ 予定は変更される場合がありますので、月間予定表で必ずご確認ください。



# 「個性」を育む指導に向かって。

The Shape of Education to Come

eina の前身である「国立学院予備校」が開校したのは 1972 年のことでした。

爾来、東京国立市を核に受験教育を展開、有数の受験指導塾として、高い支持を戴き、1987 年からは、その成果を海外の子どもたちにも提供すべく、活動範囲を世界へと広げてきました。

海外で指導するようになり、さまざまなご要望に応えるなか、私たちは「受験指導」とはちがう教育にも深く関わるようになりました。eina 北米が、日本国内の方針から離れて幼稚部を設置し、幼児・低学年教育に力を入れるようになったのも、その一端です。こうした活動を通じて、私たちは、単なる「塾」としてではなく、海外に住んでいる子どもたちに貢献できる「教育機関」として存在する必要性を痛感しました。

海外にお住まいの子どもたちは、それぞれにちがった背景があり、多様な個性が育っています。私たちが指導するにあたって、画一的なカリキュラムではなく、柔軟性をもったコース・デザインが必要です。そのため 2010 年より、小学校低学年にはベネッセの『グリムスクール』を導入、高学年は『受験クラス』と『基礎クラス』に分けるなど、指導内容の多様化を図りました。

このように「受験指導塾」を超えた教育機関となるよう努力を積み重ねておりますが、われわれの拠りどころが「受験」にあるという信念は変わりません。「受験」こそが、私たちが鍛えた道場であったからです。とかく、特殊訓練めいたものとして揶揄されがちな「受験勉強」ですが、教育の本質は一つです。むしろ、必ず結果によって評価がくだされる「受験」の中に身をおいてきたからこそ、私たちの「教育者」としての実力が培われたのです。

各教科の本質をつかみ、お子様の個性を見極めて身につけさせる指導は、『受験クラス』でも『基礎クラス』でも、変わりありません。その中身を、ぜひみなさまの目でお確かめください。



# 幼稚部



バイリンガルは、放っておいては育ちません。アメリカに住んでいるからこそ、本物のバイリンガルになるための日本語教育が大切なのです。

**eina** 幼稚部では、アメリカにいるとなかなか触れることのできない日本の行事や歌、手遊びを学び、言葉の読み書きを楽しく元気に勉強していきます。バイリンガルになるための、**eina** からの提案です。

## ぐんのび (4歳～6歳)

就学前から、日本語をしっかり身に付けておきましょう

日本語で聞いた内容を、日本語で考え、日本語で表現する経験を大事にするクラスです。

アメリカに住んでいると、きれいな日本語で考えたり学んだりする機会が減ってしまいます。英語環境で頑張っているお友だちは特に、日本語の文の中に英語が混ざってしまいがちです。

ぐんのびクラスでは日本語への関心を育て、書くこと、読むこと、学ぶことへの意欲を引き出します。楽しい環境の中で、思ったことを元気に発言して、感じたことを言葉に表しましょう。自分達と同じ環境のお友だちと一緒に勉強をすることで、「英語も日本語も頑張るって当然」という意識が身につきます。また、行事、数、自然や科学への関心も養い、さらに、就学前に身につけておくべき学習態度も指導いたします。

キンダーに入ると英語の宿題が大変で……と思いがちですが、だからこそ、この時期に、英語と日本語を両立させる基礎を身につけましょう。就学前の頑張りや、小学校入学後の学力に大きく影響します。

授業では、お話の読み聞かせや、絵日記、数の概念の練習など、知育にとどまらず、季節の行事の解説などを通して、基本的な日本文化に親しむ機会を提供していきます。



## 授業時間帯

年齢	科目	曜日	時間帯	授業分数/週
4歳～5歳 (年中)	ぐんのび	木	14:10～15:10	60分
5歳～6歳 (年長)	ぐんのび	金	15:40～16:40	60分

# 小学部 (1 ~ 3 年)



最近、日本の受験塾も小学校1～3年生の授業をするようになりましたが、実は受験塾は低学年指導が苦手。小学校低学年と高学年は、本質的に指導方法が異なります。小学校5・6年生中心の受験塾が指導することには、無理があります。

では、**eina**も？

**eina**は、幼児教育の専門家を講師陣に加えて、低学年教育の研究を重ねてきました。

その結論が、ベネッセ**グリムスクール**の導入です。

日本語と疎遠になりがちな環境だからこそ、**eina**の存在意義が高まります。

## 国 語



初級・中級 (小1～小4年)

『グリムスクール』は、「進研ゼミ」でおなじみのベネッセが開発した、新しい読書プログラムです。

子どもたちが飽きずに楽しく学ぶための工夫を随所にちりばめ、すべての子どもたちが自分の得意分野で「輝く瞬間」を体験できるように、さまざまな要素の教材が用意されています。楽しいだけでなく、「読む・書く・聞く・話す」の4つの力をバランスよく伸ばすのも、このグリムスクールの特徴です。

小学1、2年では、この『グリムスクール』を「国語」学習の中心にすえ、**eina**独自の工夫も加えて子どもたちの国語力を伸ばしていきます。

### 漢字教室 (小1～小2年)

『グリムスクール』は、興味を持って、楽しく授業を進めるプログラムなので、漢字などの「訓練」が意図的に軽くなっています。それを補うものとして、「漢字教室」の設置です。各学年で学ぶ文字、漢字をしっかり身につけ、文章で使えるようになるためのグリムスクールのためのクラスです。

### 小3国語

『グリムスクール』で読書に慣れたら、少しずつ「勉強」に進んでみましょう。

『話し言葉の世界から少しずつ書き言葉の世界に導く』ことを念頭におき、やさしい文章を中心に文章を読み解く練習をしていきます。また、『声に出す』ことを重視、音読を積極的に取り入れています。

3年生は、この授業だけで「国語」能力には十全となるようカリキュラムを組みますが、もちろん、『グリムスクール』と同時履修もできます。

## 算 数

## 1・2年生

文章問題に重きを置き、まずは問題文の理解力を上げる勉強を中心に進めていきます。教室内の全ての説明、会話はもちろん日本語です。

## 3年生

ノートのとり方の練習をはじめ、基本問題から応用問題まで幅広く取り組みます。計算問題から、実際に定規やコンパスを使うような図を扱う問題等を含む、基本を重視したプログラムです。

## 授業時間帯

学年	科目	曜日	時間帯	授業分数
小1	算数	木	15:20~16:00	40分
	漢字教室	木	16:10~16:40	30分
	グリム初級	木	16:50~17:50	60分
小2	算数	金	15:20~16:00	40分
	漢字教室	金	16:10~16:40	30分
	グリム初級	金	16:50~17:50	60分
小3	国語	金	16:50~17:50	60分
	算数	金	18:00~19:00	60分
	グリム初級	金	16:50~17:50	60分
	グリム中級	木	18:00~19:00	60分

# 小学部 (4 ~ 6 年)



いよいよ **einä** の本領発揮、小学校高学年です。

えっ、受験しないから、**einä** は関係ない？ いえいえ、受験しなくても、**einä** なのです。

長年受験指導に携わってきた過程で、「基礎」が奥深い内容を持っていることに、私たちは気づかされました。中学入試の問題は、その難しさばかりが喧伝されますが、実はそれぞれの教科の「本質」を理解しているかを試そうという、出題者の涙ぐましいばかりの工夫が横溢しています。そのような問題の研究を重ねてきた私たちは、やさしい内容の反復練習ではなく、「本質」に近づく努力こそが「基礎」に他ならないと実感しました。高いところから俯瞰するからこそ、「本質」を見通すことができるのです。

**einä** の授業時間は、決して長いものではありません。その短い時間で合格する力を養えるのは、「本質」を指導するからです。そのノウハウを、受験生だけに独占させておくのは、もったいなさすぎます。

## ● 『基礎からしっかりコース』

### 国 語

---

「国語」という教科は、ことばの学習であると同時に、文化の学習でもあります。子どもたちの精神成長を促すような文章を読みながら、「読解力」と「漢字＝語彙力」を、その子に即したレベルで養成していきます。根本的な国語力の底上げに大いに役立つ『文章の音読』にも積極的に取りくみます。

### 算 数

---

算数の基礎をしっかりと身に着けるよう心がけますが、何よりも算数の「面白さ」を知ることを重視します。各学年、週1回の授業で基本問題から応用問題まで幅広く取り組めるカリキュラムをご用意しております。教科書だけの勉強では身につけることの出来ない算数の面白さを体験して下さい。

## ● 『受験コース』

### 国 語

---

根本的な言語思考能力は13歳で完成するという観点から、中学入試問題は公立高校の入試問題と同レベルの思考力が要求されます。過去の入試問題の出典を中心に、大人の世界につながる読解力＝思考力と、入試を突破する漢字＝語彙力を養成します。

## 算 数 + ハイレベル演習 (小6のみ)

---

4年生から中学受験勉強の準備に入り、教科書レベルを超えた受験問題を中心に扱います。6年生の前期までに一通りの全ての単元を終え、後期は各単元の総復習、更に中学受験に対応した実戦的問題中心の授業に推移します。また、小6のみ「ハイレベル演習」を開講。上位校受験対策として偏差値60以上の生徒が対象となります。

## 英 語

現地英語で使っている“通じる英語”のみでは、中学受験は対応できません。中学受験といっても高校受験、大学受験で取り扱われる現在完了や仮定法、分詞構文なども容赦なく出題されます。基礎を固め、しっかりとした文法知識を身に付けることから始め、エッセイ対策も含め実戦的な問題に取り組みます。

## ● 理科・社会

### 理 科

理科は教科書の中だけの世界では無く、身の回りの多くの事が理科に関係しており、色々な自然現象そのものが理科そのものであることを認識し、まずは興味を持つことを第一とし、その上で知識を深めていくことを目指します。夏期特別講習では例年、『理科実験教室』を開催しています。

### 社 会

基本的に『興味を引き出す』ことを重視し、『子どもが理解できる言葉』で説明し、いろいろなエピソードを紹介しながら、子どもたちの『へえ～、そうなんだあ。。。』という表情を大切に、『楽しみながら』学べるような授業を展開してまいります。現地校では学べない日本の地理、歴史を身につけて下さい。

## 授業時間帯

コース	科 目	曜日	時 間 帯	分 数
基礎からしっかりコース	小4国語	火	16：10～17：40	80分
	小4算数	水	17：50～19：20	
	小5国語	金	18：00～19：30	
	小5算数	水	16：10～17：40	
	小6国語	水	17：50～19：20	
	小6算数	木	16：10～17：40	
受験コース	小4国語	木	17：50～19：20	80分
	小4算数	金	18：00～19：30	
	小5国語	木	16：10～17：40	
	小5算数	火	17：50～19：20	
	小6国語	水	16：10～17：40	
	小6算数	火	16：10～17：40	
	小6算数ハイレベル演習	木	17：50～19：20	
	小6受験英語	金	18：00～19：30	
理科・社会	小4	金	16：20～17：50	各40分
	小5	金	16：20～17：50	
	小6	水	14：30～16：00	

# 中学部



## 国 語

各学年とも、テキストは、ほとんどが過去に出題された入試問題で構成されており、論説・評論文、物語文、詩・短歌・俳句、古文、国文法、文学史に至るまで、高校受験対策をメインにした授業をおこなっております。そして、小学部同様、漢字力の養成を重視するとともに、高校入試レベルの文章を読み解いていくのに必要な読解用のボキャブラリービルディングにも力を入れていきます。また、高校受験はしない場合でも、この読解用のボキャブラリービルディングをしておく、高校レベルの現代文読解にも、そしてその先にある日本語小論文の学習にも大いに役立ちますので、将来帰国校を使って日本の大学受験をお考えの方にもおすすめです。

## 数 学 + ハイレベル演習(中3のみ)

教科書から受験に対応した発展問題まで幅広く、数学の基礎力、応用力の確実な習得を目指します。数学の解法は決して1つではありません。教科書では学べないテクニック(よりシンプルに、より早く、より正確な答えを導き出す)の指導を重視します。中2の12月には中3の単元に入り、冬期講習、夏期講習等の講習を通して中3の夏休みまでに、中学すべてのカリキュラムを終え、夏以降は演習、過去問を中心に、より実戦的な問題に取り組みます。上位校受験対策として中3のみ「ハイレベル演習」を開設します。

## 英 語

### 必修英文法Ⅰ・Ⅱ (対象：中学1・2年生)

日本語で英語の文法を学びます。日本の中学に編入する際、また、高校入学時には、日本語での文法の実践力が重要になってきます。文法用語はもちろん、文型、態や現在完了など、ゼロから文法を学びます。普段、現地校で使っている口語表現をどんなに身につけても高校受験に通用しません。通じるだけの英語ではなく、きちんとした文法知識を獲得し、日本式のテストでハイスコアを取ることを目標にしています。

### 受験英語 (対象：中学3年生)

必修英文法の応用編となります。『現地校で問題が無い・英語で難なく話せる＝英文法を正しく理解している』では決してありません。日本帰国時に、帰国子女として胸を張れるよう、中学の間に正しい文法を身につける必要があるのと同時に、上位校受験対策として、現在完了の応用や仮定法、強調構文なども取り扱います。後期には、過去問を解きながら問題に慣れ、その上で、各高校の問題の傾向を掴み、自分なりの読解スタイルを身につけるのを目的とするクラスです。

## 理 科

理科は教科書の中だけの世界では無く、身の回りの多くの事が理科に関係しており、色々な自然現象が理科そのものであることを認識し、まずは興味を持つことを第一とし、その上で知識を深めていくことを目指します。一般常識としての知識から、日本の教育水準に合わせた授業です。

## 社 会

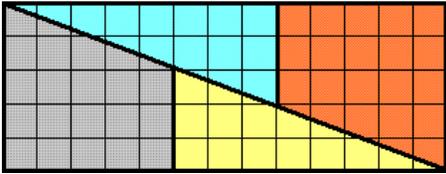
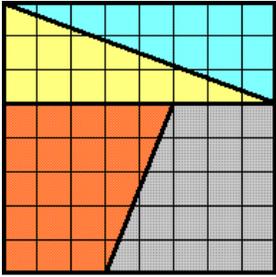
無理なく一般常識レベルの社会科の知識を身につけることを目指し、地理的分野を中1で、歴史的分野を中2で、公民的分野を中3で学習してまいります。授業では多くのエピソードを紹介しながら説明し、『そういうことだったのか……面白いなあ』と興味を広げる内容の授業を行います。

### 授業時間帯

学 年	科 目	曜 日	時 間 帯	授業分数
中 1	数 学	火	19:30~21:00	80分
		土	9:30~11:00	
	国 語	木	19:30~21:00	80分
		土	11:10~12:40	
	必修英文法Ⅰ	金	19:30~21:00	80分
理科・社会	火	17:50~19:20	各40分	
中 2	数 学	金	19:40~21:10	80分
		土	14:30~16:00	
	国 語	水	19:30~21:00	80分
		土	12:50~14:20	
	必修英文法Ⅱ	火	17:50~19:20	80分
理科・社会	火	19:30~21:00	各40分	
中 3	数 学	土	11:10~12:40	80分
	数学ハイレベル演習	水	19:30~21:00	80分
	国 語	土	9:30~11:00	80分
	受験英語	火	19:30~21:00	80分
	理科・社会	金	19:40~21:10	各40分

●中1、中2の国語と数学はそれぞれ、平日と土曜日のどちらか一方をご選択下さい。

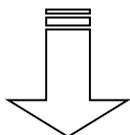
(例：①国語は土曜日、数学は平日 ②国語、数学共に土曜日など) 授業内容は同じです。



## お問い合わせから入学まで

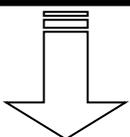
お問い合わせ

ena サンフランシスコ  
TEL (650)235-3410  
FAX (855)560-6750  
e-mail enasf@msn.com



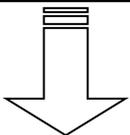
体験授業申込書提出

申込書を FAX、e-mail、郵便で送るか、校舎窓口にお持ちください。  
こちらから確認のお電話を差し上げます。



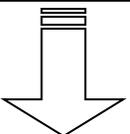
体験授業

筆記用具とノートをご用意ください。



履修クラス決定

体験授業を担当した講師と、相談させていただきます。



入学手続き

入学手続き書、個人調査票、科目登録書の3枚の書類を提出してください。  
校舎窓口では、費用納入の必要はありません。入学金その他の費用について、後日請求書がご自宅に郵送されます。

## ご帰国の場合は

ご帰国前に「変更届」の帰国連絡欄をご記入のうえ提出してください。日本国内のenaに転校される際、入学金免除、1ヶ月授業料無料(2月1日~6月30日の期間限り)の特典があります。お近くの校舎を訪れる前に渋谷校国際部松嶋までご連絡ください。(TEL 03-3461-0511)



世界でも、日本国内でも子どもの学習をサポート



1710 S. Amphlett Blvd.,#120  
San Mateo, CA 94402  
TEL 650-235-3410  
FAX 855-560-6750  
HP: [www.ena-kikoku.com](http://www.ena-kikoku.com)  
E-mail: [enasf@msn.com](mailto:enasf@msn.com)

